

2026 年 7 月 15 日

a n d U S (597A)

まつ毛美容液などの自社企画コスメティックス製品売上と施術者向け教育コンテンツ売上が収益源。細分化とコストパフォーマンスが製品の強み。

TOKYO PRO Market | Fukuoka PRO Market | パーソナルケア用品 | 企業概要

BLOOMBERG 597A JP | REUTERS 597A T

- まつ毛美容液を中心としたコスメティックス製品の企画販売が中心。ほか、サロンなどの施術者向け教育動画サービスのサブスクリプションも収益源となる。
- 2026年11月期決算期の半期実績における当期純損失は14百万円の赤字も、通期では黒字化で着地の見通し。

事業概要：まつ毛美容液『Omeme』を中心とした自社企画コスメティックス製品の販売売上が主な収益源。価格帯はドラッグストアで売られている普及価格帯製品と、百貨店の高価格帯製品との間に位置する。当社の製品は、アイサロンの施術における使用や、施術後の店頭購入を通じて最終消費者の手に渡る。消費者は施術者からの助言を受け、細分化された製品の中から「自分に合った製品」を購入する。こうした細分化は価格面以外での差別化のポイントである。

コスメ事業ではこのほかにも、施術者の教育を目的とする動画コンテンツの配信を行っており、こうした動画のサブスクリプション売上も収益源となる。

業績と見通し：2025 年 11 月期の通期実績（単体）では、売上高が前年同期比 18.8%増の 5.5 億円、経常利益が同 88.9%減の 98 万円、当期純損失が 26 百万円の赤字となった。2026 年 11 月期より連結決算に移行。2026 年 11 月期上半期実績（連結）では、売上高が 2.6 億円、経常損失が 13 百万円、純損失が 14 百万円の赤字となっている。通期の企業見通しでは売上高が 6.5 億円、経常利益が 4 百万円、当期純利益が 1 百万円で黒字着地する見通し。2026 年度下半期より、主力ヘアケア製品『BIOtea（ビオテア）』のリニューアルを実施。9 月より営業活動および予約販売を開始し、2026 年度内での売上獲得を見込んでいる。

本邦の美容サロン市場は堅調に拡大しており、まつ毛サロンは成長領域の一つとなっている。美容液の販売先となる中小規模のまつ毛サロンには、大手エステサロンなどが行う回数券の割賦販売の実施は多くなく、店舗側が営業債務を積み上げることは少ないため、当社側が抱える営業債権リスクは低い。一方で製品品目が細分化された製品群は需給予測が難しく在庫リスクを抱えやすい傾向にあると言える。

業績推移（単体：26/6/11開示の発行者情報に基づく）

		2023/11	2024/11	2025/11	2026/1H	2026/11F
売上高	(百万円)	351	463	550	N/A	N/A
経常利益	(百万円)	2	8	0.9	N/A	N/A
当期利益	(百万円)	1	2	(26)	N/A	N/A

業績推移（連結：7/15開示の決算短信および6/11開示の発行者情報に基づく）

		2023/11*	2024/11*	2025/11**	2026/1H	2026/11F
売上高	(百万円)	352	497	N/A	264	655
経常利益	(百万円)	1	16	N/A	(13)	4
当期利益	(百万円)	1	19	N/A	(14)	1
EPS***	(円)	2.11	60.29	N/A	(46.10)	3.20
PER	(倍)	—	—	N/A	—	312.50
BPS***	(円)	109.32	91.23	N/A	14.62	—
PBR	(倍)	—	—	N/A	68.40	—
配当	(円)	—	—	N/A	—	—
配当利回り	(%)	—	—	N/A	—	—

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成。1H = 上半期実績、F = 会社予想)

*2023/11と2024/11の連結指標は合併前の参考数値

**2026年11月期より連結決算移行のため、2025年は単体決算のみの作成。

***各期の一株あたりの指標は、2026年2月28日に行われた株式分割を過去に溯って反映。



フィリップ証券

A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想 (円) - (会社予想)
株価 (円) 1,000 2026/7/15 (参考値)

石川県野々市に2009年開業した個人サロンが前身。2012年に同事業体を法人化し、(株) a n d U S を設立。のち、美容サロンからコスメティックスの自社企画販売へ業態を変更する。2020年に富山市根塚町に本社を移転。2025年内に子会社2社（(株)7VEERS、(株)コ・クリエーション）を完全子会社化のち吸収合併。2025年に台湾展開を目的とした子会社（安達思燈美国際有限公司）を設立。2026年7月に東京証券取引所のTOKYO PRO Marketおよび福岡証券取引所のFukuoka PRO Marketに上場した。

報告セグメントは、(1)コスメ事業、(2)BLT（サロン）事業である。

(1) コスメ事業：まつ毛美容液などの自社企画の化粧品をサロン事業体もしくはサロン経由での店頭販売を通じて最終消費者へ向けて提供するほか、施術者向けの有料セミナー動画コンテンツのサブスクリプション売上などが収益源。

(2) BLT（サロン）事業：自社企画のサロン『eyedea! BEAUTY LABORATORY』（富山県富山市）の運営が収益源。

主要株主 (%)
株式会社羽廣屋万九郎 68.08
廣岡 伸弥 17.16
廣岡 香織 14.78

* 6/11開示の『コーポレートガバナンス報告書』に記載の数値による
* 上記数値は新株予約権による潜在株式数を含まない
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部
三角 友幸
tomoyuki.misumi@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

笹木 和弘
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL： <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者： リサーチ部 三角友幸

公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平 14.1.25）」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第 102 条の規定、または福岡証券取引所の定める「特例」第 102 条の規定、または札幌証券取引所の定める特例第 102 条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser または F-Adviser または S-Adviser、あるいはそのすべてに就任する旨の契約を締結いたしております。また、フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特例」第 135 条、または福岡証券取引所の定める「特例」第 135 条、または札幌証券取引所の定める「特例」第 133 条の流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。